

## 有機農産物で消費者をつなぐ

株式会社しみず農園(北斗市)



清水代表

## ◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 2008年、野菜の納品先から、他野菜との差別化を図るため、有機農産物の取組を提案され、ハウス3棟でトマト、ミニトマト、キュウリ等の有機栽培を開始(有機JAS認証取得)
- ◆ 有機農産物の販路を拡大するため、自らホテル、飲食店、青果店等に足を運び販路を開拓
- ◆ 2009年、野菜ソムリエの資格を取得し、セミナーや収穫体験の受入れ等の食育活動を通じて野菜の魅力を伝える活動を実施
- ◆ 2011年、東日本大震災の影響で納品先のホテルの生鮮食品の仕入れが縮小したことを契機に、有機ミニトマトジュースを製造・販売(有機加工食品JAS認証取得)
- ◆ 現在、有機ミニトマトジュースの他にケチャップやドレッシングを製造・販売



加工施設(とまと工房)



有機農産物を栽培している施設

## 【組織等の概要】

- 代表者: 清水 千万幸
- 生産販売品目: 有機農産物約20種類(有機JAS認証取得)米(特別栽培米)
- 生産加工販売品: 有機ミニトマトジュース(有機加工食品JAS認証取得)
- 主な販売先: ホテル、飲食店、青果店、スーパー

## 【取組の成果】

- 有機ミニトマトジュースの加工販売数量  
2013年 300本 ⇄ 2021年 10,000本
- 有機農産物販売品目数  
2008年 10種類 ⇄ 2021年 約20種類
- 味、品質が高く評価されるとともに、生産者の有機農産物への思いが伝わり、取引数、取引先が増加し、安定的な販売先を確保



有機ミニトマトジュース



加工食品(ケチャップ)

## 【今後の展望】

- 有機ミニトマトを使用したアイスクリームの製造・販売
- 消費者から強く要望されている有機農産物直売所の開設
- 有機農産物を使用した料理を提供するファームレストランの開設